

2019年度(令和元年度)事業計画

新しい元号令和の初年度は、事業目的である大学支援事業の的確実施推進と工業会の更なる充実のため会員サービス活動を推進し、昨年の中長期財政委員会、建物委員会の検討結果と全国支部会員の意向を踏まえ、工業会の基盤の再整備を推進する。

具体的には、全学同窓会として、大学との協議を踏まえ、本部の学内移転、大学との連携強化とデータベースの再整備、学生会員を含めた会員サービスの充実を図り、また、工業会館の耐震化対応策を実施推進していく。

1. 大学支援事業

(1) 国際化推進事業支援（国際的に通用する人材の育成・大学の国際化支援）

① 学生の海外研修・留学支援

(2) 教育研究支援（大学の教育研究活動に対する支援）

- ① 実務型教員(非常勤講師)の第二部教職科目(職業指導)への派遣を継続するとともに、第一部の授業への拡大についての検討も継続する。
- ② 教員に対する研究助成等教育研究活動の環境整備に対する支援
- ③ 定年退職教職員への感謝状と記念品贈呈

(3) 学生支援（学生の人材育成に対する支援）

- ① 学生の海外研修・留学支援 【再掲】
- ② 優秀な卒業生に対する「名古屋工業会賞」の贈呈
- ③ 経済的に支援を必要とする者への給付型奨学金の授与
- ④ 留学生後援会への援助
- ⑤ 挑戦的課外活動活性化奨励金の給付
- ⑥ 「工大祭」の支援
- ⑦ 就職活動支援（学生会員及び保護者）
 - 1) 就職活動開始前の学生に対する「就労意識の早期醸成」・「企業理解の促進」教育を目的とした「名工大ディナートーク」の開催
 - 2) 就職活動対象学生に対し、就職ガイダンスの一環として「OBトップセミナー」の開催
 - 3) 「卒業生と学生との懇談会」による就職支援
- ⑧ 在学生及び保護者に対する大学の各種情報提供の支援

(4) その他の支援

- ① 大学が行う各種の事業及び学生活動に対する支援
 - 1) ホームカミングデー
- ② 鶴桜会（OG会）の支援
- ③ 工業会の諸行事の機会を通じた大学基金への寄付に対する協力
- ④ 同期会、クラブOB会等種々の機会を通じた寄付風土の醸成

2. 名古屋工業会の更なる充実のための事業

(1) 会員増強活動

- ① 卒業生への活動
 - 1) 入会率を向上させるため、各種の会合を通じた積極的な入会勧誘の実施
 - 2) 各支部行事の機会における支部単位での積極的な入会勧誘
- ② 単科会への活動
 - 1) 単科会が主催する「卒業生と学生の懇談会（前述1（3）⑦）」における未加入者の入会勧誘
 - 2) 単科会会員のうち、名古屋工業会未加入者に対する積極的な入会勧誘
- ③ 在学生への活動
 - 1) 新入生の入会率向上策の成果検証と、さらなる改善策の検討及び保護者へのPR活動を強化する。
 - 2) 未入会者に対する入会勧誘及び卒業時における未入会学生への勧誘

(2) 活性化活動

① 会員交流および広報活動

- 1) 会誌「ごきそ」を隔月に発行し、会員に対する大学情報の提供と会員間交流情報の媒体として、より魅力ある会誌の刊行を行う。なお、閲覧はホームページによる。
但し、新たな広報体制の検討を行う。
- 2) 情報提供の場としてのホームページの充実
- 3) 学生会員の保護者に対し当会の理念及び事業等の説明会を開催するとともに「OBトップセミナー」への聴講の機会提供
- 4) 当会の事業に賛同する団体(単科会、同期会、鶴桜会(OG会)、クラブOB会等)に会友として参加するよう働きかけるとともに、「ごきそ」及び「ホームページ」等当会の広報媒体への参加、利用を促進
- 5) 会員情報・優待制度の充実
 - ・ 会員優待制度の普及・充実
 - ・ 会員証の利用・普及の拡充とともに、有効期限更新時の会員データ更新も可能なようにする。
- 6) 人材データベース構築のため、卒業生連携室の協力を得て会員名簿を整備

② 支部活動

- 1) 支部活動は会員サービスのベースであり、特に会員数の増加が見込まれる名古屋、東京、大阪の各支部活動の充実を図り、継続的運営の整備を図る。
- 2) 全国会員の人的ネットワーク形成の推進のため本部と連携し、全国各支部の事業を充実し会員のコミュニケーションの活性化を促進
- 3) 「職域」との連携の在り方の検討

③ 単科会との連携

- 1) 工業会と大学及び単科会との連携等について検討
- 2) 単科会が主催する「卒業生と学生との懇談会(前述1(3)⑦)」を支援

④ 講演会の開催

- 1) 会員総会後に特別学術講演会を開催

⑤ 記念品の贈呈

- 1) 叙位叙勲者および国家褒章受賞者に記念品贈呈
- 2) 卒業満70、60、50、40周年に該当する会員に記念品贈呈

3. 名古屋工業会の将来に向けた基盤整備

(1) 中長期財政計画の策定

① 財政検討委員会の継続検討

- 1) 公益目的支出計画終了に伴う健全財政構築についての検討
- 2) 大学支援の在り方についての検討

② 本部の学内移転と本部事務組織の見直し

(2) 工業会館の解体と跡地活用の検討

建物委員会の検討結果及び会員意向を踏まえた工業会館の解体及び跡地活用の検討

(3) 本部の学内移転後の大学連携活動の検討

- ・ 卒業生連携室との具体的連携活動の検討
- ・ データベースの計画的連携方法の検討

4. その他の事業

(1) ホームカミングデーにおける昭和44年度卒業生の卒業式実施協力

以 上

2019年度収支予算書

(2019年4月1日から2020年3月31日)

1. 収入の部

(単位:千円)

勘 定 科 目	2019年度予算(A)	2018年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業収入等	3,637	4,209	△ 572
(1) 財産利子収入	1,977	1,978	△ 1
(2) 会誌広告収入	410	415	△ 5
(3) オフィス賃貸収入	1,250	1,315	△ 65
(4) 駐車場賃貸収入	0	451	△ 451
(5) 寄附金収入	0	50	△ 50
2) 入会金, 会費収入	76,190	79,950	△ 3,760
(1) 入会金収入	70	73	△ 3
(2) 年度会費収入	3,500	4,087	△ 587
(3) 終身会費収入	72,500	75,670	△ 3,170
(4) 賛助会費収入	120	120	0
3) 雑収入	90	88	2
(1) 雑収入	90	88	2
4) 積立預金取崩収入	3,000	8,475	△ 5,475
(1) 減価償却積立預金取崩収入	0	7,429	△ 7,429
(2) 調査研究助成積立預金取崩収入	3,000	1,046	1,954
5) 前期繰越収支差額	0	0	0
(1) 前期繰越収支差額	0	0	0
収入の部合計	82,917	92,722	△ 9,805

※ 平成30年度借入限度額及び債務負担額についての該当事項はありません。

注1 全駐車場契約解除したため 注2.3 職域の年度会員から終身会員への移行

2. 支出の部

(単位:千円)

勘 定 科 目	2019年度予算(A)	2018年度決算(B)	増減(A-B)
1) 事業費	72,147	74,530	△ 2,383
(1) 大学支援事業	41,940	41,950	△ 10
ア 教育研究支援	3,680	3,680	0
イ 学生支援	36,830	36,836	△ 6
ウ その他支援	1,430	1,434	△ 4
(2) 工業会の充実のための事業	28,057	30,012	△ 1,955
ア 会員増強活動	3,292	5,245	△ 1,953
イ 広報活動	10,290	10,291	△ 1
ウ 支部活動	12,240	12,241	△ 1
エ 会員慶弔	2,120	2,120	0
オ 講演会	115	115	0
(3) 収益事業	2,150	2,568	△ 418
ア オフィス賃貸	2,150	2,150	0
イ 駐車場賃貸	0	418	△ 418
2) 管理費	10,770	10,763	7
(1) 総会経費	2,080	2,075	5
(2) 管理諸経費	8,690	8,688	2
3) 固定資産取得支出	0	7,429	△ 7,429
(1) 固定資産取得支出	0	7,429	△ 7,429
4) 次期繰越収支差額	0	0	0
(1) 次期繰越収支差額	0	0	0
支出の部合計	82,917	92,722	△ 9,805

注1 全駐車場契約解除したため

新聞記事コーナー

中日新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2019/4/13	朝	29	鵜飼裕之	学長	委員長に戸茆氏再任 (CBC番組審議会)
2019/4/14	朝	34	名古屋工業大学	—	惨状訓練 生まれた学びや 名大土木学科 被災2年後創設
2019/4/16	朝	16	水野陽太 鈴木大斗	在学生	弓道 ナゴヤユニバーシティカップ弓道
2019/4/18	朝	14	名古屋工業大学	—	中部新時代 見どころ満載 名古屋の観光と産業
2019/4/19	朝	20	伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	名古屋の近現代建築史一冊に 名工大生ら編集 あす名駅 周辺解説ツアー
2019/4/19	中日 プラス		伊藤孝紀	建築・デザイン工学科	名古屋の近現代建築史一冊に 名工大生ら編集 あす名駅 周辺解説ツアー
2019/4/20	朝	3	戸田国良	卒業生(E17)	この人 IT業界から海苔問屋5代目に 戸田国良さん(36)
2019/4/26	朝	34	名古屋工業大学	—	10連休 君の大学は? 完全休み「ラッキー」3日だけ悔しい
2019/5/8	朝	25	堀越哲美	名誉教授	エクステリアガーデンフェア
2019/5/8	岐阜版 朝		麓和善	建築・デザイン工学科	大仏殿に竜の天井画 実測図作る調査で発見 岐阜大仏の 正法寺 雲に乗って体を巻いた姿
2019/5/15	朝	6	須原信介	卒業生(M56)	(人事)F U J I社長 須原氏が昇格
2019/5/17	三重版 朝	15	杵川日向雅	在学生	そろばんGP三重 全国へ6人決まる 鳥羽
2019/5/21	朝	4	早原悦朗	名誉教授	春の叙勲受章者 瑞宝中綬章
2019/5/24	朝	15	園部海斗	在学生	sports愛知 中部学生スポーツ射撃
2019/5/31	朝	3	小島浩資	卒業生(F56)	【新社長】東海テレビ放送 小島浩資氏 F56
2019/5/31	飛騨版 朝	15	名古屋工業大学	—	CGでよみがえった高山城 高山市 動画サイトで公開 実 際の風景に表示する仕組みも予定

中部経済新聞

掲載日	刊	面	氏 名	所属学科等	記事タイトル(内容)
2019/4/16	朝	15	川村大伸	社会工学専攻	【研究現場発】データ解析に人の知見を取り込む 人中心 の効率的マネジメントサイクルの実現
2019/5/21	朝	15	白井 孝	生命・応用化学専攻	【研究現場発】安価なHapで環境浄化 熱誘起ラジカルを 利用したVOC分解触媒

研究者紹介

技術をデザインする!

「使い易い」だけでなく「使ってみたくなる」デザインのものづくり

研究者：名古屋工業大学大学院工学研究科
社会工学専攻 井上雅弘 教授



工業製品から福祉機器まで、デザイン思考によって技術をより使いやすい形へと導く井上雅弘教授。素材や機構を生かしながら感性に訴えかけるデザインで使い手に寄り添った製品を生み出すとともに、デザイン系の学生だけでなく情報や機械など異分野の学生を巻き込んだものづくりプロジェクト「Edison PJ」(エジソンプロジェクト)を掲げ、デザインとエンジニアリングを統合した創造教育の活性化に取り組んでいる。

体験と関係性をデザインする「UXデザイン」や、様々な社会問題を多角的なデザインアプローチによって解決する「ソーシャルデザイン」にも取り組み、問題解決の手法としてのデザインの在り方を研究、実践している。アイデアをどんどん形にして、使う人のモチベーションに刺激が与えられるようなデザイン、不可能を可能にするデザインを目指す。

◇患者が自ら使いたくなる脚式歩行器のデザイン

受動歩行とは、足の付け根と膝を軸とする二重の振り子運動を利用して少ないエネルギーで効率よく歩くことができる歩行方式である。本学電気・機械工学専攻の佐野明人教授が研究する受動歩行の原理から生まれた脚式歩行器をベースにして、患者にとってより魅力的なデザインを追求している。

病院やリハビリ施設などで使われている歩行支援器具の多くは、リハビリのための機能のみを重視しているため、患者が自ら「使ってみたい」と思えるような歩行支援器をデザインすることで、ハード面から患者のモチベーションを向上させ、継続的かつ主体的なリハビリにつなげることを目標にしている。

また、従来の歩行器は安定性が重要視されているため、本来の歩行で必要な重心移動を適切に行うことができないが、脚式歩行器には前方への重心移動を促したり上半身と下半身の連携を促したりする仕組みがあり、本来の歩行に近い状態でリハビリすることができる。

脚式歩行器の開発では、軽い素材、細い部材を用いて構成要素を単純にするなどして「軽快感」を出し、簡単に扱えることと、自分自身が歩く感覚を大切に「操作感」、包み込む形状、親しみやすい形を意識した「安心感」を設計指針に試作品を製作。理学療法士から得られた意見を試作品に反映させながら改良を重ね、最終モデル(写真1参照)にたどり着いた。

今後は、安全性の検証と、リハビリ施設等での実用性評価を更に進め、最終モデルの実用化を目指すとともに、リハビリの程度に応じた新たなモデルの作成や、玩具など別の分野への応用が期待される。



写真1

デザイン思考によって開発した脚式歩行器の最終モデル

お問い合わせ先 国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市 29 番 E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp
URL: <http://tic.web.nitech.ac.jp>



YouTube 名工大テクノロジーチャンネル 研究紹介動画のご紹介！



名工大テクノロジーチャンネルは、名古屋工業大学で取り組んでいる最先端テクノロジーに関わる研究を紹介するチャンネルです。

名古屋工業大学では、ものづくりのヒントになる「なんじゃこりゃ!」という面白い発想、世界をあっと驚かせるような新しい技術の種がどんどん生まれ、目まぐるしい勢いで変化する世界に向けて発信し続けています。

ぜひ名工大テクノロジーチャンネルを開いてみて、「なんじゃこりゃ!」をいっぱい見つけにきてください！

船瀬新王先生

あなたのストレス見えてますよ？



毎日長時間頑張っているあなた、ストレスが溜まっていませんか？疲れが溜まると効率も落ちる。逆にストレスを把握して、休憩したり、シフトを組んだりしたら、生産性も上がるかもしれません。脳がストレスを感じるメカニズムは一体どうなっているのでしょうか？また、脳波を測定、解釈することで、どんなことが分かるのでしょうか？ストレスに限らず、脳波で人の精神状態を可視化する技術についてご紹介します。

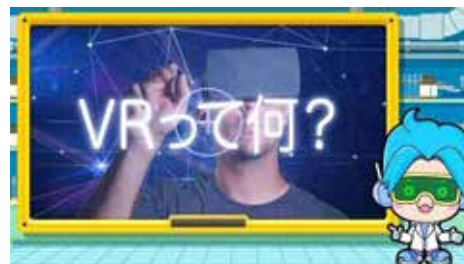


舟橋健司先生

バーチャルは現実？



「VR（バーチャルリアリティ）」とは、VRゴーグルなどを被って、ゲームや映画の中で、実際には存在しない世界を体験できるもの。VRの世界自体は真実ではないものの、それを通じての体験や感覚、それから生まれる感情や思い出は、その人にとっての現実です。まるで実際に体験しているかのような現実的な感覚を体験できるVRの可能性は、娯楽だけでなく、医療や宇宙開発などの分野にも広がっています。さあ、VRの可能性を探ってみましょう！



大塚孝信先生

海を守るウキ



気象条件に左右されやすい水産養殖業。赤潮の発生や異常水温の影響で、何年もかけて育てた水産資源が全滅なんていうことも…。そんな被害を防ぐために「海を守るウキ」として活躍するのが、IoT技術とAI技術をもとに構築された「汎用環境情報システム」。ベテラン養殖従事者の経験と勘に代わって、リアス式海岸のように複雑な地形で水温予測が難しいエリアでも、より高い精度で予測し、データを通信してくれます。一体どんなものなのか見てみましょう。



ホットライン

表彰者紹介

2018 年度叙位・叙勲受章者は以下のとおりです。
5 月 18 日の名古屋工業会の総会で、工業会からの表彰を行いました。

「瑞宝中綬章」 (教育研究功労)

中林 功一



【学 歴】

昭和 36 年 3 月 名古屋工業大学 機械工学科卒業
昭和 39 年 3 月 大阪大学大学院工学研究科
修士課程修了

【職 歴】

昭和 36 年 4 月 トヨタ自動車工業株式会社 入社
昭和 39 年 4 月 名古屋工業大学機械工学科 助手
昭和 42 年 10 月 名古屋工業大学機械工学科 講師
昭和 45 年 11 月 名古屋工業大学機械工学科 助教授
昭和 55 年 10 月 名古屋工業大学機械工学科 教授
平成 14 年 3 月 名古屋工業大学 定年退官・名誉教授

コメント：流体工学分野の教育研究に従事。研究内容は、回転流れに関し「二球間すきま流れの乱流遷移現象と準剛体回転流」、乱流に関し「乱流に与えるコリオリの力の影響とクエットーポアズイユ型乱流構造」などの研究がある。研究室の先生方ならびに卒業生との共同研究によるもので、感謝申し上げます。

「瑞宝中綬章」 (教育研究功労)

奥山 文雄



【学 歴】

昭和 37 年 3 月 東北大学理学部卒業
昭和 42 年 3 月 東北大学理学研究科博士課程
物理学専攻修了

【職 歴】

昭和42年 4 月 東北大学助手（科学計測研究所）
昭和43年 4 月 名古屋工業大学工学部 講師
昭和48年 4 月 名古屋工業大学工学部 助教授
昭和59年 4 月 名古屋工業大学工学部 教授
平成 9 年 4 月 名古屋工業大学大学院 教授
（都市循環システム工学専攻）
平成14年 3 月 名古屋工業大学 定年退官

コメント：名古屋工業大学の、研究並びに教育における更なる発展を、切に願っております。



令和元年度 名古屋工業会給付型奨学金授与式

名古屋工業会は、令和元年6月12日(水)、名古屋工業大学本部にて加川理事長、鵜飼学長の出席のもとに令和元年度名古屋工業会給付型奨学金の授与式を執り行った。この奨学金は学部の新入生に対し、第1年次から第4年次終了の4年間、経済的理由により学生生活に不利益を生じないよう支援することを目的に、名古屋工業会が平成29年度から開始した「給付型奨学金」である。

本奨学金第3期生として、情報工学科 神田翼さん、電気・機械工学科 田島瑞起さんの2名が採用され、加川理事長から証書を授与され、温かい激励を受けた。その後、加川理事長、内藤常務理事、鵜飼学長、犬塚副学長らと、4年間の大学生活への抱負を語るなど和やかに懇談を行った。



加川理事長 田島さん 鵜飼学長



懇談会

あなたも「ごきそ」の表紙を飾ってみませんか？

名古屋工業会誌「ごきそ」表紙掲載写真募集

一般社団法人名古屋工業会（名古屋工業大学全学同窓会）では、会誌「ごきそ」を幅広い年代の方が交流できるツールとして活用いただけるよう、同窓生の皆様から随筆や紀行などの原稿と共に、表紙に掲載する写真の投稿をお待ちしております。ご投稿いただく写真や写真データ（JPEG）は次の要領でお願い致します。

- * 未発表の作品で、他への応募予定のないもの
- * プリント写真ならば2 L判程度の大きさ、写真データならば左右のピクセル1,000以上
- * 構図は縦長（縦位置）を希望（横長の場合はトリミングさせていただきます）
- * 作品のタイトルと簡単な説明、撮影者の氏名（卒業学科・卒業年）及び連絡先を明記
- * 国立大学法人の同窓会誌のため政治色や宗教色を感じさせるものは避けてください。
- * 肖像権が生ずるような人物が特定できるものは避けてください。
- * 採用の写真は編集会議で諮ります（投稿＝掲載とはならないことをご了承ください）
- * 表紙に採用された場合は薄謝（クオカード等）を進呈いたします。

【送り先】〒466-0062 愛知県名古屋市昭和区狭間町4 一般社団法人名古屋工業会

E-mail : gokiso@lime.ocn.ne.jp

『投稿のお願い』

名古屋工業会 広報委員会

【原稿のジャンル】

- ◆ 交流コーナー (4頁以内)：ご自身のお仕事上の経験などを紹介
 - ◆ 学生コーナー (2頁以内)：名工大生の様々な活動を紹介
 - ◆ 研究紹介 (4頁以内)：オリジナリティと学術的有用性のある研究論文
 - ◆ 講座 (4頁以内)：最新技術情報など一般読者に役立つ内容
 - ◆ 随筆 (3頁以内)：見聞・体験・感想・在学時代の思い出など
 - ◆ 紀行 (3頁以内)：海外出張・留学・旅行など
 - ◆ 情報ネットワーク (1頁以内)：支部報告・会員ニュース・お知らせなど
 - ◆ 他に俳句・詩などの文芸、会員の著書・展覧会などの寸評、その他のご自由な意見など (1頁以内)
- これら以外に広報委員会が設定する特集・連載記事を募集または依頼します。

【投稿規定】

- (1) 原稿の種類 掲載希望ジャンルを上記から選択してください。
- (2) 原稿の長さ 1頁あたり「文章1,000文字+写真・図・表2点」が目安です。規定の頁数に収まるように作成ください。
- (3) 原稿の作成と入稿
 - ・原則として当用漢字と現代かなづかいの口語体を基調とします。
 - ・刷り上りはA4版2段組です。標準の文字数は1段が「21文字×38行=798文字」で、1頁につき「21文字×38行×2段=1,596文字」です。
 - ・手書き原稿でも結構ですが、なるべくワープロソフトを使用し、図表を含め仕上がり紙面に近い書式で原稿を作成ください。
 - ・写真および図版はお送りいただいたものをそのまま使用します。その場合、提出は(JPEG)を歓迎します。写真や図版ごとにキャプション(短い説明)と通し番号を明記してください。
また、会誌「ごきそ」へはモノクロで、ホームページへはカラーで掲載致しますので、ご入稿の際はカラー版をお送りいただけましたらと思います。
また、校正は色校正でもお出しできますので、ご希望の際はご連絡ください。
 - ・電子メールでの入稿(Word、Excel、PDF、text等のファイル形式)を歓迎します。
但し、PDF原稿の中に写真や図等の貼付けがある場合、その部分の解像度が落ちてしまう可能性がありますので、できましたらJPEGファイルも別添いただきますようお願いいたします。
- (4) 原稿の採否および掲載時期
 - ・原稿は、原則として未発表のものに限ります。原稿の採否および掲載時期は『ごきそ』編集委員会にて決定します。原稿の短縮や、表現・内容の修正等をお願いすることがあります。
- (5) 著者校正 通常の場合、初校の著者校正をお願いします。
- (6) 原稿表紙 電子メールの本文、あるいは原稿表紙には次の情報を記載ください。
 - ・著者名と所属
 - ・本学出身者の場合は卒業した学科(あるいは専攻)、卒業年度
 - ・原稿の種類(掲載希望ジャンル)
 - ・原稿の題目
 - ・顔写真の有無(有りの場合はプリントまたは電子ファイル(JPEG)を添付)
 - ・ご連絡先(郵便番号と住所、電話・FAX・電子メールなど)

【原稿送付先】

原稿送付および投稿に関するお問い合わせは下記宛にお願いします。

〒466-0062 名古屋市昭和区狭間町4 一般社団法人名古屋工業会内 広報委員会

Tel: 052-731-0780 Fax: 052-732-5298 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp

情報 ネットワーク

平成31年度 尾張支部総会報告

4月13日(土)平成31年度の尾張支部総会を名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホールで開催しました。工業会から加川純一理事長(初参加)、内藤克己常務理事、大学から鶴飼裕之学長代行の山下啓司学長特別補佐(キャリアサポートオフィス長・生命応用化学科教授、初参加)のご来賓をお迎え致しました。参加者は来賓を含め46名でした。特別講演とミニコンサートへは、家族・知人・近隣の方を含め14名の参加もありました。昨年度の総会は支部として若い卒業生の参加と新規参加者勧誘を強化した結果、初参加者が増加しました。今回は更に女性会員の勧誘も強化しましたが残念ながら参加が得られず、全体的に前回並みの参加者でした。毎回参加者増員の困難さを痛感しました。しかし今回も豊富で楽しい内容であり、例年通り活気あふれる支部総会となりました。

○第1部総会行事

音無支部長の挨拶、次いで来賓紹介後、祝辞として加川理事長および山下学長特別補佐より、それぞれ近況と今後の方針・計画等のご説明をいただきました。

議事に入り支部長よりH30年度事業活動報



写真1. 加川理事長の挨拶

告、大竹昌志会計幹事より会計報告、山内勝博監事より会計監査報告がそれぞれあり、支部長より令和2年度の支部総会は「4月11日(土)に当ホールで開催決定」と2019年度(令和元年度)の事業計画(案)の説明があり、最後に全議案の承認を得ました。

○第2部特別講演

演題「右手の夢：サリドマイドを考える」

講師：柴田哲男(のりお)氏(名工大大学院工学研究科教授・薬学博士)

柴田先生の、悲惨なサリドマイド薬から安全なフッ素型サリドマイド薬開発へ至る一連の講演には聴講者の面々は引き寄せられ感銘を受けました。

1. なぜ?睡眠薬として安全で広く使われてきたサリドマイドが奇形児を生んだのか。実はサリドマイドには光学異性体があり、安全な右手型Sと催奇性を起こす左手型Rの混合体(ラセミ体)であるためでした。しかし安全な右手型Sサリドマイドのみを供与したとしても、人の体内で順次ラセミ化することも判明したのです。

2. そこで柴田先生は、サリドマイド薬の中のラセミ化に関わる水素(催奇性を起こす)をフッ素に置き換えたフッ素化サリドマイドを開発されたのです。すると、従来のサリドマイドは妊婦の3ヶ月内の胎児の手足を形成する為の血管新生を阻害することにより奇形を生じていたのが、フッ素化することにより血管の形成をむしろ促進する効果があることを見事に発見&データーで示されたのです。安全なサリドマイド薬の誕生です。

3. 現状サリドマイド薬はラセミ体のまま、妊婦が服用しなければ問題ないとして、その特性

である毛細血管の成長を妨げる効果によるがん治療薬及びその他の有効な治療薬として販売されているのです。

4. ここで余談ですが、男性には(誠に不公平ですが)安全とは認められていますが、妊婦の旦那さんはこの期間中サリドマイド服用は御法度であることは言うまでもありません。

新開発薬の動物実験で効果と安全性確認後、臨床・治験試験を経て人に役立つ日が来ることを念願します。



写真2. 柴田先生の講演

○第3部ミニコンサート

ソプラノ歌手の久野絵理さん・同中村真由子さん、ピアノ奏者卯野杏実さんで、春にちなんで冒頭「隅田川」、プッチーニ作曲「私のいとしのお父様」ピアノ独奏など演奏後、突然観客席から酒瓶と杯を持っての登場のユニークな演出でプッチーニ作曲「酒飲み達」を歌い上げ、新しい試みで会場が大いに盛り上がりました。アン



写真3. ミニコンサート

コール「上を向いて歩こう」を全員で声高らかに合唱して1時間のコンサートを楽しみました。

○第4部記念撮影

ミニコンサート出演者も入ってのスナップです。



写真4. 全体写真

○第5部懇親会

支部長挨拶後、玉田欽也前支部長に乾杯の音頭をお願い、来賓、講師、ミニコンサート出演者も加わり、昨年より質・量ともにパワーアップした料理も堪能し、賑やかな雰囲気に包まれた立食パーティーで歓談しました。途中、加川理事長・内藤常務理事のスピーチを挟み、最後に全員で「東海の邦のほまれに」を斉唱し、伊藤副支部長から6月3日(月)に実施予定の『MRJミュージアム見学会』の参加呼びかけの後、万歳三唱し来年の再会を約し、18時30分散会となりました。

記：山内勝博(講演部分)、伊藤美保



尾張支部のMRJミュージアムと組立工場及びあいち航空ミュージアム見学記

第Ⅰ部

第1章 MRJミュージアムと組立工場見学

長年の念願であったMRJミュージアム及び組立工場見学が好天の6月3日(月)に初中老ではあるが好奇心と探求心の旺盛な気心の若き19名が全員揃って、MRJミュージアムチェックインカウンター入口に30分前に集合した。受付カウンターで各位の身分証明書提示でチェックインし、1チーム10名のグループに編成され、各グループ毎にマイクロバスに分乗し、MRJミュージアムへ、エントランスに到着。そこでは長身の若くて美しいアテンダント達が待ち受けていて、直ちに歓迎の言葉と注意事項を受けた後、カメラとスマートフォン等をロッカーに預けて、約90分のミュージアムの見学ツアー開始。

エレベーターで5階に上がるとそこはMRJミュージアム。見学コース順と内容の概略は以下の通りです。

1. MRJ名称：Mitsubishi Regional Jetで地方での近距離運用のジェット機との説明。

2. 見学最初はMRJ原寸大機体モックアップ
①機体のデザインコンセプトは日本らしさの追求。シャープな機体デザインは日本刀、シンボルカラーは漆塗工芸色の黒・赤・金、②機内のコックピット：15インチ液晶パネル4面、パイロットの負担軽減し、人的エラーの防止。③各種センサー、④客席は左右各2列で且つリクラインシートと快適。設計のポイントはほぼ真円に近い機体と通常客室の下にある貨物室を後方へ設置し客室内の高さ(2M)を確保とのこと。天井のパネルは桜の花と富士山をイメージした照明で全体的に座り心地良さの体感。

3. 翼とエンジンのカットモデル

①主翼断面の展示は当初炭素繊維製から軽合金製に変更。内部のリブは削り加工で作成。

リベットで止める構造ではないため重量軽減を図った、②垂直尾翼は炭素繊維複合材料製により、従来合金製と比較してその軽さを実感。③翼は燃料倉庫利用、④主翼の端が曲がっているウイングブレットの目的の説明あり。通常の主翼端は翼端渦を起こしているとのことは初耳だ。

翼の端を曲げてより空気抵抗を減らして、その分燃料減に成功とのこと。納得！

4. ①400以上もの各種安全試験の紹介、②風洞試験の実物展示。案外小さい模型で実験するものだとの印象。

5. 現場の作業視察、実作業現場ではなく、一人一人が手にしての360度展開できる製造現場を映すタブレットで観察。

6. パーツ展示室へ。ここはMRJに搭載される日本を含む世界から採用された部品の展示(後日調べたところでは国産部品30%、あとは世界からとのこと)

7. 最終室には10の4乗クラスの、胴体と主翼を作る飛鳥工場や尾翼を作る松阪の工場をはじめ世界各地から集まってくる部品の総合管理GLC(Global Logistics Center)を設立した概要の説明。またMHIグループの紹介もあり。

第2章 MRJ最終組立工場の見学

再びエレベーターで2階へ降り立つと眼前に組立それに続く配線と内装等の艤装工場がある。世界で3ヶ所しかないという見学できる工場です。(参考に他の2ヶ所はボーイング社のアメリカシアトル工場、エアバス社のフランスのトゥールーズの工場。)組立工場では実質3機の稼働と、艤装工場では1機の作業中。眼下では工程作業毎のデスクを中心に技術陣が様々な動いている様子が(作業内容は不明)点とるように見えた。

1階に降りエントランスエリアに戻り、記念スタンプやミュージアムショップでのウインドウショッピングを楽しみました

最後にMRJの大きなパネルを背景に参加者全員の記念写真撮影し、美しいアテンダントにも別れをし、あいち航空ミュージアムに戻った。



MRJミュージアム見学会 令和元年6月3日

第3章 あいち航空ミュージアム見学

見学スケジュールの都合であと1時間程しかなく、急いで駆け巡るように見て回った。従って一部の紹介となります。

まず目についたのは中世イタリアで活躍の芸術家レオナルド・ダビンチの描いたヘリコプターのデザイン図とこれをもとに現在に設計作成された大人一人が乗れるくらいの大きさの展示物に迎えられた。既にそんな昔に考えられた事実に驚き。ただ実際に作ったのに実験結果の提示なく、ガッカリ！

25分の1超精密模型の名機100選があり、時間の都合でゼロ戦等をピックアップ観察。3Dシアターでは専用眼鏡を着用し視た映像が本当に飛び出してくる感じで、初めての経験。眼鏡を外すとどのように見えるのかを確認したところ2重画像だった。1階に降りて実機展示会場で注目されたのは最近引退・展示されたY11でした。

その他では30人乗りの大型ヘリコプターの大きさには驚かされた。イタリアとイギリスの会

社の共同開発という。かつての南極観測船“2代目しらせ”の艦載機にも導入されたとの説に当時は大活躍されただろうと想像。見学を終えて皆さん昼食後、参加者の皆さんはそれぞれの感想を持って解散した。

第Ⅱ部 一部参加者の感想編

MRJミュージアムと最終組立工場の見学を終えて出てきたメンバーは大したものだと感じる人や、未だこんな段階かと心配する人まで幅広い感想が聞かれました。

Aさんの感想は技術屋の立場から

“最終組立工場見学後の感想は日本の航空産業が世界に追い付くには大変なことだなどと思い。100万点もの部品の組み立て(参考までに自動車産業の部品は3万点)の総合管理運営は言うまでもなく、400項目以上もの数多くの試験を一つずつクリアしながらも全体を把握&推進していくシステムを作り、どの様にオペレーションしているのだろうと想いました。というのも先般偶然にもTVで放映していた2010年に起きたエアバス380の第2エンジン爆発事故記録番組を目にした。まさしく大惨事の危機の中、クルーの懸命の努力により幸運にも無事不時着に成功した。そのお陰で無事であった機体の原因調査が容易となり、結果は何とエンジン部品のたった1つの品質不良から生じたとの事でした。戦後の日本の航空産業は長い空白(唯一YS11を1965年に生み出した経験はあるものの)があるため、研究・生産の基盤はまだまだ薄いところからの出発で技術陣の苦労は大変だろうと想像しますね。”

一方Bさんは経営の在り方の見地から

私見として安全性確保は不可欠、しかし、MRJは日本らしさコンセプトの細部、外観に凝り過ぎ結局受注確保後も納入延期の連続で未だ1機も納入していない。通常のビジネスでは考えられない余裕のある呑気な飛行メーカー体

質？或は初期の物づくりコンセプトや計画の不十分さから生産途中で度々の変更が納品無の結果だと思う。

通常ビジネスでは物を作り販売し利益を出すことが基本。

MRJの最終的判断は飛行機の利用者や航空会社が決めることなので一定の安全性確保確認ができれば市場に出すことが先決だと思うが…その間に競合他社は中小型機市場への進出・納入実績を挙げている報告がある。

MRJに興味を持って調べているCさんがBさんの意見を受けて

“Bさんの意見はもっともだと思う。調べてみると2008年開発スタートし、当初は13年12月に納入をめざしていた。それがなんと延期5度も繰り返して、今は2020年の半ばの初号機の納入を目指しているそうですよ。その原因は機体設計のほぼ全面見直しをしたいとのことらしい。そのために国産自前主義方針を改め、海外の経験豊かな技術陣を多く(インターネット情報では従業員1600人中340人)迎え入れ、また部品も実績のある海外産を多く組み入れたそう。またもたもたしている間にライバルのブラジルのエンブラエル社の新小型機の納入が始まっている。

Aさんが再び

確かPresidentOnlineに載っていたことだがIT大国インドの強さは60点主義にあると。IT産業と飛行機製造産業を同じ次元で論じるには難があるが、彼らは先ず60点の状態で「エイヤ!!」とキックオフし、その後不具合の報告や時にはクレームを受けてからそれを受け入れてどんどんクオリティを高めていけばいいとの考え、すぐ行動を起こしている。これがインドIT産業のスタンダードであり、強さの源である。

一方、日本は100点主義である。

完璧主義をとっているがためにいつまでたっても最初の商売すら始まらない。また顧客の要

望に対してゼロコンマ以下の精度まで精密に作りあげたものを納品する検査・検品に力を入れていると。

でも今回の問題の1つには初期の見通しの甘さだったと思われるよ。でもここきて軌道修正して再出発したので、こうなった時の日本は本来の力が発揮されてくると思うよ。是非期待したいね。”

最後にCさんのまとめて

“そうはいっても皆さん期待のMRJはYS11開発以来おおよそ半世紀ぶりに日本が独自開発するジェット旅客機です。

今2020年の納入を目指しUSAのモーゼスレイク空港で追い込みのテストを重ねています。そして日本では行えない過酷環境・条件下(極寒・極暑)試験や耐久試験も現在進行中。

燃費削減・騒音とCO₂の排出を抑えて環境に優しい飛行機であるよ。お客に対しても新しい快適さを供給するコンセプトで開発しているし、きっと達成すると私は大いに期待していますよ。”

記：山内勝博(W42)



平成 31 年・大阪支部「春季歴史探訪の会」開催報告

(丹波篠山 篠山城跡と城下町巡り) 担当：大阪支部「集いの会」横山誠・神戸孝

日 時：平成31年4月21日(土)

08：00～17：00 参加者数：25名

内 容：

篠山城跡巡り…家康の命による天下普請で築城された城跡を巡る。

大書院見学…京都二条城の二の丸御殿と非常に似た建物を見学。

武家屋敷資料館見学…武家屋敷群と篠山藩の家臣であった安間家の住居を見学。

歴史美術館見学…旧篠山裁判所の建屋を活用。美術品、埋蔵品の展示を見学。

河原町旧商家群の町並みを巡る

報 告：

今会の歴史探訪は、丹波篠山をバスで巡り、篠山城跡遺構や大書院、旧城下町を訪問しました。特に篠山城大書院は江戸時代初期に京都の中井家に集結した各地の大工が、各地域に戻って同様な建造物を建築し、二条城の二の丸御殿の影響が色濃く残ると云われております。昨年の歴史探訪で二条城を見学しておりましたので、参加の皆さまは高い関心を持って大書院を見学しました。

また関心が高かったのは、明智光秀の11度にも及ぶ攻撃を阻んだ要塞と云われる八上城跡がある高城山で、篠山城の天守台からこの高城山が目前に見られます。来年のNHK大河ドラマでは、明智光秀の生涯を描く“麒麟がゆく”の放映が決まり、この八上城攻略が大きなヤマ場となることから、この攻略場面がどのようなストーリーで放映されるか関心と期待が集まりま

した。地元の丹波篠山市(5月1日より改名)でも、これを機に篠山城跡と八上城跡を全国にアピールして、観光集客につなげたい意向です。

篠山市は城まわりの武家屋敷群と商家群がきれいに整備されて保存されており(両地区は国が選定する重要伝統的建造物保存地区)、特に旧商家の建物については、岡崎支部長の詳しく丁寧な説明をいただいて、参加された方々に好評でした。旧商家群は現在電柱の地中化作業を進めており、旧城下町地域を積極的に保存する地域の活気が感じられて、参加された皆さんは篠山に好感を持たれた方が多かったです。

歴史美術館では旧裁判所の法廷がそのまま残されており、当時の法廷の雰囲気を確認できました。

今回の参加者は会員の奥様など、間口を広げて参加者を募り、歴史に関する情報入手、展開に加えて、ストリートショッピング、グルメ情報、土産情報なども交換しあい、気楽に楽しめる企画といたしました。今後ともご家族や知り合いの方々にも気軽に参加しやすいツアーにしたいと考えています。

今年の秋季歴史探訪は奈良の興福寺と平城京跡を中心に、探訪をする予定です。興福寺には昨年中金堂が再建され、奈良時代の都の全体像をより理解しやすい環境となっていますので、皆さまと一緒に当時の様子を確認、検証したいと思います。是非とも多くの方々のご参加をお待ちしております。

記：横山 誠(K47)



篠山城大書院前にて



篠山城跡から見た八上城跡(高城山)



篠山歴史美術館前にて

W32クラス会と健康雑話

平成31(2019)年4月11日、名古屋市中村区名駅南「舞鶴館」で12名で開催。冒頭、三代目幹事・佐脇正唯君より、私達のクラス会は、昭和32(1957)年3月に卒業以来毎年開催し一度も休んだことがない。これは、初代幹事・鈴木 坦君が40年間、二代目・今井 博君(故人)が9年間頑張っていたいただいたお蔭です。私は平成19(2007)年に引き継いで13年目です。この連続開催記録は誇れる、皆さんの協力の賜物と挨拶。

この記録は途切れるピンチがありました。平成25(2013)年5月開催「名鉄でんしゃ旅(日間賀島一泊)」の直前に、佐脇幹事が心筋梗塞で緊急入院。幸い軽度(長年水泳で鍛錬の成果)で、伊藤勝朗君(ほぼ皆出席)が代行して乗り切る。

今回も、恒例の乾杯の後、会食をしながら近況報告。話題は健康に関することが多く、一番感動したのは、近藤卓郎君(昭和10(1935)年3月生まれ)の話で、2003年68歳の時に前立腺がん手術、78歳：ペースメーカー埋め込み、79歳：心房細動でカテーテルアブレーション治療、80歳：肺がん手術等で「身体障害者1級」カード所持、84歳の現在も月に1～2回ゴルフを楽しんでいる(後記【雑話】で補足)。次に、健康診断は全て基準内で無病息災の平野 正君が昨年「ギックリ腰」になり、近くの整形外科医院でウォーターベッド治療を10回受けて完治と報告。市川浩二君は本人が出席した時の記念写真を編集して披露し好評。

《W32同級生の現況》卒業時の在籍者43名。残念ながら鬼籍に入られた方18名。祈冥福。



後列：沢田 増井 馬場 玉田 市川 都築
前列：清水 平野 近藤 伊藤 佐脇 浅野

健康雑話

【謹話】4月30日に退位された上皇陛下(昭和8(1933)年12月生まれ)は、69歳：2003年1月に前立腺がん手術、78歳：2012年2月に心臓の冠動脈バイパス手術。しかし、お元気にご活躍です。上皇ご夫妻のご長寿をご祈念申し上げます。

【雑話】4月22日に前出の伊藤君、佐脇君と小生の三人で近藤君宅(日進市)を訪問し、夫妻に健康の秘訣を伺いました。

前立腺がんは排尿時に異変を感じて、近くの医院で針生検を受けたが「異常なし」の判定。納得できず、八事・第二日赤病院で再検査「ステージD-1」の判定で全摘手術。3ヶ月毎に通院し、ホルモン治療を続けて腫瘍マーカー PSA値0.01で完治状態。その後78歳以降の前述の病気は、前立腺がんで縁があった同病院への緊急入院や最近腎臓病の食事指導のお蔭で、現在があるとのこと。また、自分でもストレッチングボードで「ふくらはぎ」を鍛錬、近くの『はり・灸総合治療院』で「はり」の治療を受けていると。

夫人は快活な方で、主人の緊急事態に備えてゴルフは一緒にプレー、一日8千歩のウォーキングで健康寿命を延ばす努力をされていました。

【追記】小生は2004年9月に一宮・大雄会第一病院でPSA検査と針生検を受け「前立腺がん(ステージB-2)」が見つかり、手術の予定でした。著書『前立腺がん(実業之日本社)』で「小線源治療」を知り、大雄会主治医に申し出て、相模原・北里大学病院を紹介して頂き、同年12月に同治療を受けて完治。

昨今『がん』は2人に1人が罹患。「前立腺がん」は、男性のがんで二番目に多いがんです。50歳以上の方は『PSA検査』を受診されることをお勧めします。

令和元年5月記：玉田欽也(W32)

東京支部「第63回 東京ごきそサロン」報告

第63回東京ごきそサロンが、2019年6月5日(水) 18時から八重洲俱樂部で『環境問題の現状と今後について考える』をテーマに開かれ、出席者は31名でした。講師は、日本環境認証機構(以下JACOと称する)顧問・審査員の蛭田道夫氏(M49卒)でした。蛭田講師は、卒業後三菱電機株に入社。2006年に環境推進本部長に就任後、2010年JACOに転籍し2012年から4年間社長を務め現在に至る。今回の講演では、長年の国際的な地球温暖化問題への対応、近年のマイクロプラスチック問題などの環境型社会への対応が求められているなか、環境問題の推移・現状、企業が目指す環境経営、これからの環境問題への対応を紹介していただきました。

【講義内容】

1992年に「環境と開発に関する国連国際会議」(地球サミット、リオデジャネイロ)で「気候変動枠組条約」と「生物多様性条約」が提起された。「気候変動枠組条約」は京都議定書(COP3、1997年)、パリ協定(COP21、2015年)へと続き、重要な課題として議論が続いている。一方、IPCC(国際気候変動に関する政府間パネル)は、第5次報告(2013年)で、人間活動が及ぼす温暖化への影響について「可能性が極めて高い(疑う余地がない)」と報告した。最近では、2015年の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)が話題となり、多くの企業が経営に組み込んだ活動を始めている。

A. 環境マネジメントシステム(ISO14001)

環境に関する方針及び目標を定め、その目標を達成するために組織を適切に指揮・管理するための仕組みを指す。ISO14001は、社会経済的ニーズとバランスを取りながら、環境を保護し、変化する環境状態に対応するための枠組みを組織(企業)に提供することを目的としており、外部からの評価と内部の改善にツールとして活用できる。

B. 環境問題の変遷

①地球の誕生と人類の歴史:地球誕生約46億年前、人類誕生約400万年前、産業革命後僅200年でこんなに地球を汚してしまった。②環境の価値観の変化と21世紀の地球:1970年代からの工業社会の

急激な進展と人口増加により、便利さ、物質的・経済的豊かさが先行しバランスが崩れて地球環境問題発生。21世紀は持続可能な発展(環境型社会)とすべき⇒地球は子孫からの借り物と認識し、地球規模で考え・地域で行動⇒「隗より始めよ」(自分ができるところから始める)。③地球環境の現状:9つの環境問題(オゾン層破壊・有害廃棄物の越境移動・地球温暖化等)あり、人類の活動の歴史を背景にした究極の環境問題の地球温暖化は、異常気象・食糧問題・健康影響・海面上昇等に広範で長期に影響を及ぼす。

C. 環境問題への取り組み

①地球温暖化防止に向けた取り組み:a)前述したパリ協定は、歴史上初めてのすべての国が参加する公平な合意で、2℃目標の設定と1.5℃に抑える努力を追求することに言及し、削減目標を5年ごとに見直しすることとした。B)前述したIPCCは、国連環境計画と世界気象機関により1988年設立され、195ヶ国の政府が関わっている。第6次報告書は、2021～22年を予定している。③環境、社会、経済への対応:a)2015年国連サミットで採択したSDGs(持続可能な開発目標)は、今後15年間で達成するための17の目標(経済・社会・環境・ガバナンスの4分野)を掲げている。b)その他:ESG投資・CDPやICEF(Innovation for Cool Earth Forum)がある。④プラスチック汚染(マイクロプラスチック):a)世界で年間4億トン生産、大半は使い捨て、その多くが海洋に投棄、b)中国の廃プラスチック受入れ禁止などで、日本国内に廃プラスチックが溢れている⇒リサイクルさせていくチャンスが来た。⑤環境の5R:3R(Reduce・Reuse・Recycle)+Repair・Refuse(エコバック/マイ箸等)

D. まとめ(環境問題の今後):出来る所から取り組み、子孫に美しい地球を引き継ごう。

講義終了後、「パリ協定離脱の米国では?」、「廃棄プラスチックの処理は?」、「再生エネルギー積極的に動いていないのではない?」等、多岐にわたる質疑応答があり、懇親を深めて盛況に終えることができました。最後に、奇しくも6月5日は「環境の日」であり、OGが初めて参加した記念すべき「東京ごきそサロン」でした。

記:福間 洋二(M49)



講師 蛭田道夫氏 (M49卒)



講義中



質疑応答 (食事中)

岐阜支部 2019年度総会報告

岐阜支部の2019年度総会及び懇親会を、令和元年5月11日(土)午後5時から岐阜駅前のホテルリソル岐阜に於いて、会員35名の出席にて開催しました。

例年通り総会前に、午後4時から支部活性化事業の一つとして講演会を開催しました。今年度は、岐阜女子大学家政学部健康栄養学科の片桐幸子先生にお願いし、「いつまでも元気で生き生きと暮らすために」と題して、ご講演いただきました。統計からみえる健康問題について延べられ、健康で暮らすための留意点を話されて講演を結ばれました。

ひきつづき総会を開きました。D40元島栖二支部長より開会挨拶の後、本部よりお越しのA43内藤克己常務理事の挨拶をいただきました。名古屋工業大学、並びに名古屋工業会の現状について詳しく説明を受けました。その後、議事に入り、平成30年度の事業報告と収支報告、2019年度の事業計画と収支予算、役員改選等の議案を上程し、滞りなく議決していただき、議事を終了しました。役員改選により、新支部長に選任されたEs44大久保陽一氏の挨拶と、代表幹事のE51糸見義雄氏の紹介をして総会を閉じました。

参加者全員で集合写真を撮影し、懇親会に入りました。大先輩のM31三浦安平氏の乾杯に始まり和やかに会員の親睦を図りました。

記：岐阜支部代表幹事 関尾 光正 (D41)



岐阜支部総会集合写真

南国「沖縄」での卒業41年目の同期会

60歳の還暦を機会に始まった電気工学科昭和53年(E53)卒の同期会は、名古屋(大学)開催に始まり地方大会として日本各地の卒業生の「出身地」を訪問しようという試みに、昨年は京都(祇園)で舞妓さんと日本の情緒に浸り、第4回の今年はなんと5月11日～13日に「沖縄」での南国開催となり13名(他に夫人4人同伴)が参加しました。これは同級生の中に石垣島出身の「島村均」君が我々のクラスに居たお陰で、沖縄での「クラス会」が実現できました。彼は、本土復帰以降も数年残っていた沖縄からの「国費留学制度」での最後の名工大への留学生でした。

今回は、通常なら梅雨入りしているこの時期にもかかわらず、3日間天候に恵まれ、旧交を温めた「懇親会」、沖縄本島南部の首里城や北部の海洋博公園・美しいエメラルドグリーンの海にかけられた古宇利大橋を渡り離島の古宇利島へも足を延ばした観光、東シナ海を望む緑まぶしいゴルフなど、41年ぶりに学生時代に戻ったが如くの、ついで経験できない印象深い同期会となりました。

記：川村信之(E53)



大阪支部 技術士部会の報告

平成31年4月25日(木)に平成最後の第10回大阪支部技術士部会をアーバネックス備後町ビル2Fにて開催しました。今回はいつもより少人数の参加者の9名でしたが、大阪府・兵庫県・京都府など関西地区の技術士に加えて、名古屋工業会大阪支部長の岡崎格郎さんにも参加して頂き、食事をしながら、活発で楽しい部会となりました。

福井技術士事務所E47の福井英雄さんに、自己紹介の後、「ルワンダ国の配電計画および技術者教育訓練」のテーマで、JICAで派遣されたアフリカのルワンダでの生の話をして頂き、質疑応答で盛り上がりしました。

その後、各自の近況とか興味ある技術課題などではインドネシアでの発電技術協力とか台湾での土木技術協力などが話されました。次回の10月には、海外での技術協力の現地見学を検討しては、との話もあり、その実施計画をすることになりました。

記：松永純二(M46)



第118回 名工大ごきそ会報告

第118回名工大ごきそ会は、令和1年6月5日(水)豊田市北部の松名町にあり、名古屋市からのアクセスも便利なパインズゴルフクラブにて15名の参加を得て開催いたしました。当日は風もなく穏やかな天候の下プレーすることができました。

パインズゴルフクラブは、2008年6月に世界的に注目を集めているリー・シュミット監修によりリニューアルオープンされ、クラブハウス、コースともに新鮮さが感じられます。

本コースはショートホール、ミドルホールで比較的短いコースが数ホールあり、名工大ごきそ会のメンバーにとっては、プレーを十分に楽しめる結果となりました。優勝者は最長老の光行恵水さんで、グロス85、ネット70で優勝されました。光行さんは平成最後のごきそ会に続き、令和元年の最初のごきそ会ではエージシュートで優勝を飾る偉業を達成されました。これからお元気で活躍させていただきたいと思います。準優勝者は伊佐治武さんで、グロス90、ネット72の成績でした。第三位は松浦富康さんで、グロス102、ネット72の成績でした。BB賞はごきそ会代表幹事の篠田陽史さんが獲得されました。特別賞としては、ベストグロス賞は優勝された光行さん、ニアピン賞は梶原さん、平岡さん、加藤さん、山中さん、バーディー賞は松浦さん、伊佐治さん、泉地さん、梶原さん、光行さん、山中さんの6名が獲得されました。おしどり賞は梶原さん、汗闘賞は篠田さん、大波賞は寺西さんでした。今回は多くのメンバーが賞を獲得でき、楽しいごきそ会になったことと思います。次回は、9月4日(水)梶原様のご紹介で緑ヶ丘CCでの開催を予定しております。

記：山田和男(E47)



名工会東京支部 第238回ゴルフ大会報告

名工会東京支部第238回ゴルフ大会は3月29日、本厚木カントリークラブにて開催されました。平成最後の大会である当日は桜8分咲きで花見を楽しみながらのプレーとなりました。96歳のM18小関健二さん以下、参加者17名全員新ルール下でのプレーとなりました。

結果は、優勝 C42松山正之さん(Net80, Hdcp21)、準優勝 E33 藤田正浩さん(Net84, Hdcp13)、第3位 M42 河野正武さん(Net86, Hdcp13)でした。小関健二さんはバンカーを苦手としておりアウト81でしたが、インは新ルールを適用しバンカーから外にピックアップしそれぞれ2打罰を加えながらも60となり、大波賞を獲得されました。

プレー終了後、クラブハウス内のレストランにて、各賞の表彰式と懇親会を行い入賞の挨拶を頂くと共に、ゴルフ談義、健康談議に花を咲かせました。

次回は6月5日(水)、佐倉カントリーにて開催の予定です。

大勢の皆様の参加をお願いいたします。

なお新規の入会者を募集しています。ご希望の方はC44川島泰(k_tai@amethyst.broba.cc)までご連絡ください。

記：実行委員 寒川修平(E48) 藤田正浩(E33)



名工会東京支部 第239回ゴルフ大会報告

名工会東京支部第239回ゴルフ大会は6月5日、佐倉カントリー倶楽部にて開催されました。令和最初の大会である当日は、入梅直前の好天に恵まれたゴルフ日和となりました。96歳の小関健二さん以下、参加者13名のプレーとなり、全員が完走しました。

結果は、優勝 E33藤田正浩(Gross87, Hdcp12)、準優勝 B48石川 正(Gross107, Hdcp32)、第3位 B45林利信さん(Gross86, Hdcp10)でした。平均年齢81歳、最高齢96歳のM18 小関健二さんは、今回もお元気で60+59で回り小波賞を獲得されました。

プレー終了後、クラブハウス内のレストランにて、各賞の表彰式と懇親会を行い入賞の挨拶を頂くと共に、ゴルフ談義、健康談議に花を咲かせました。

次回は9月中旬の開催予定です。場所は未定ですが第一候補は若洲G.L.の予定です。

大勢の皆様の参加をお願いいたします。

なお入会希望者は川島泰(k_tai@amethyst.broba.cc)までご連絡ください。

記：実行委員 松山正之(C42)

藤田正浩(E33)



前列左より：C42 松山、B45 林、C42 原、E33 藤田
中列左より：E48 寒川、B48 石川、C34 田北
後列左より：E30 加藤規、C31 田原、M18 小関
D36 加藤精、D35 済木、C31 黒田

大阪支部 令和元年「秋季歴史探訪の会」ご案内

(興福寺と平城京旧跡巡り)

「集いの会」横山誠 (K47)、神戸孝 (K50院)

「奈良部会」西川嘉一 (G50)

会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、今秋の歴史探訪会は奈良部会との共催で興福寺境内と平城京旧跡を巡るツアーを予定致します。昨年10月に興福寺中金堂の落慶法要が営まれ、興福寺の中核となる金堂が300年ぶりに再建されました。また平城京跡も発掘調査が進み、その成果が平城京いざない館、みはらし館、復元遣唐使船など歴史公園でまとめて見る事が出来るようになり、奈良時代の平城京の様子や庶民の生活が分かり易く理解できるようになっています。奈良時代へタイムスリップして色々学びたいと思います。ぜひともご家族、お知り合いの方々もお誘いあわせの上、奮ってご参加ください。

興福寺境内散策は奈良ソムリエガイドの第一人者である川崎愛子氏にご案内いただき、意外と知られていない興福寺を興味深く紹介いただきます。各自で近鉄奈良駅に集合いただきますが、途中参加や興福寺散策のみの参加も可能です。(その場合は個別にご連絡下さい)

記

1. 日 時：2019年9月28日(土) 9:30 ~ 19:00
2. 集合場所：近鉄奈良駅行基菩薩噴水前集合 9:30AM
3. 見学行程：総徒歩距離は約5km
9:30AM 近鉄奈良駅噴水前集合 興福寺境内散策(ソムリエガイドが対応)
11:30 興福寺散策終了
12:00 菊水楼にて昼食(菊水楼の予約依頼済、予約確定は7月末)
13:30 菊水楼よりタクシーに乗り合わせて平城京跡大極殿裏へ移動
14:00 平城京跡見学：大極殿⇒みはらし館⇒いざない館⇒遣唐使船
(奈良文化財研究所所属ガイドが説明対応)
16:30 近鉄奈良駅へ移動(市バス)
17:00 懇親会 レストラン“風神”(近鉄奈良駅横)
19:00 懇親会終了 解散
4. 参加費用：資料代、ガイド代として 会員・会員の家族：500円
非会員、非会員の家族1,000円、友人・知人1,000円
興福寺拝観料1,400円、菊水楼昼食代2,800円、風神での懇親会3,500円(飲み代別)、
タクシー代は各自支払い(約500円)
5. 申込み先：神戸孝(K50院) kobet9@yahoo.co.jp TEL:090-9877-2253
ないしは 横山誠(K47) macyokoyama@hotmail.co.jp TEL:090-4164-3007
西川嘉一(G50) fwpg0181@mb.infoweb.ne.jp TEL:090-9256-0308
なお申込みに際しては①氏名、②学科、③卒業年次、④緊急連絡用携帯番号、⑤E-mail、
⑥名工会の会員・非会員か、および⑦懇親会への参加可否 のご連絡をお願いいたします。
6. 参加申し込み締め切り：9月13日(金)

2019年度 名古屋支部 “見学研修会”

2019年度名古屋支部の見学研修会を次の通り開催致します。

会員の皆様（家族同伴可）、奮って御参加ください。

記

1. 日 時：2019年10月5日（土） 8:00鶴舞公園（北側）名大病院前に集合
2. 行 先：養命酒工場（記念館見学）、早太郎温泉、花の里いいじま・信州里の菓子工房 日帰り
3. 行 程：鶴舞公園（北側）名大病院前（8:15）
 - 養命酒工場【記念館見学・試飲・買物】（11:00～12:00）
 - 早太郎温泉ホテルやまぶき【昼食・入浴可】（12:15～14:45）
 - 花の里いいじま・信州里の菓子工房【買物】（15:10～15:50）
 - 鶴舞駅付近（18:35頃） ※時間は目安です
4. 会 費：1名 6,000円（同伴家族も同じ。小学生以下は半額。）
5. 募集人数：96名（先着順）
6. 申 込 先：下記の単科会連絡幹事までご連絡いただくか、
右記のQRコードのウェブサイトにてお申し込みください。
締切は9月8日（日）



支部連絡先：横山 淳一 E-mail：kogyokai-nagoya-2019@lab-ml.web.nitech.ac.jp

（名古屋工業大学社会工学科内 名古屋工業会名古屋支部庶務幹事）

各単科会連絡幹事等

C E 会 栗田 雅貴（C③） TEL090-4186-6594
光鱈会 宇佐美智伯（A⑥） TEL052-704-6137
巴 会 大西 一（M49） TEL080-5100-2920
電影会 三宅 正人（E60） TEL090-3581-4472
双友会 伊藤 哲夫（W45） TEL052-718-0237
緑 会 村瀬 由明（D53） TEL052-805-0673

名窯会 曾根 茂実（Y62） TEL0587-66-6800
名晶会 栗田 典明（K60） TEL052-735-5297
計測会 米谷 昭彦（F60） TEL052-735-5380
経友会 仁科 健（B50） TEL052-891-5852
情友会 犬塚 信博（J62） TEL052-735-5050

各単科会幹事様は9/10までにメールにて単科会参加者情報をご連絡いただけますと幸いです。



訃

報

土田秀郎	C23	H31. 1. 11	七滝誠	M54	
大竹保雄	C24	H30. 7. 5	丹羽誠	IIM⑰	
浅井重生	C24		原口泰三	E22	H30. 4. 3
竹川守雄	C24		井上堅司	E23	
西脇威夫	C24		古川氏典	E23	H30. 5.
久米俊明	C24		村川邦夫	E23	R 1. 6.
中村卓次	C29	H30.	田坂弘次郎	E24	H30. 9. 14
松井利郎	C32		西垣茂	E29	H30. 6.
栗本英規	C40	H31. 2. 22	兵藤隆	E33	H30. 8. 25
大塚利弘	C56		山本俊伸	E39	H30. 4.
祝井孝	A20	H30. 7. 5	奥村和雄	W22	H30.
松永匡司	A23	H29. 11. 23	伊藤智	W24	
後藤要	M18	H30. 7. 1	小崎宣英	W24	
堀野正俊	M19	H30. 9. 15	塩見宏	W41	H30. 8.
岸本一郎	M20		小塩洋三	D19	H30. 8. 25
津田俣	M22	R 1. 5. 3	木全鎮朗	D23	H31. 1. 22
若山辰雄	M23	H30. 9. 25	増田利郎	D32	
塚原巖	M33	H30. 9. 15	相馬謙司	D33	H30. 12. 8
小島壮	M34	H30. 9. 19	志知克哲	D41	H30. 2.
目方十郎	M34	H30.	横川秀顯	D48	
浜興吉	M39	H30. 9. 30	太田政司	G53	
雨宮尚義	M43	H30. 11. 16	小川勝彦	K35	H30. 5. 8
乾正樹	M50		福谷芳浩	F41	H31. 1.
新美重秋	M50	H26.	岡田八郎	B44	H30. 12. 5
三ッ谷信夫	M50		山向達也	B44	H30. 1.
宮田和敏	M50		清水中稔	Ⓚ19	H30. 8.
山本茂	M50				

謹んで哀悼の意を表します。



(株)ブライダルは 名古屋工業大学会員の皆様の 「結婚」を応援します。

41年の実績
(一橋大コースetc)



左のQRコードにて携帯サイトに
簡単にアクセスできます。
(一部対応しない機種がございます。)

名古屋工業大コース

これをご覧になったとおっしゃってください

登録料 **50 % OFF**

ブライダルコース ¥226,800→¥210,600 etc.

エクセレントコース ¥388,800→¥372,600 etc.

価格は登録料・会員サポート費・月会費(12回分)の税込総額です。

- 成婚率は業界トップクラス。
- 入会審査有り。
- 都庁・官公庁・有名大学などでメディア展開。
- お客様満足度NO.1のお世話を目指し少子化問題にも貢献。

株式会社 **ブライダル** お問い合わせ 0120-415-412
http://www.bridal-vip.co.jp
名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-13 コスモ栄ビル9F
Network 東京・横浜・湘南・浜松・豊橋・名古屋・岐阜・大阪

60名のデンソー等企業出身者が御社の課題を解決します!

技術支援

メカから電気・電子、半導体まで
開発設計、品質、生産技術、生産まで

研修・講演

技術系全25講座 一材料、加工、設計、電気・電子、
組込コンピュータ、各種要素技術…
品質系全30講座 一DRBFM、なぜなぜ分析など
各種未然防止手法
マネジメント系全10講座 一経営品質、もしどらり・デザイン、
プロジェクト管理…

WORLDTECH

株式会社ワールドテック

代表取締役 寺倉修(F50)

〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目28番12号 名古屋若宮ビル6階

TEL: 052-211-7861

FAX: 052-211-7862

E-mail: solutions@worldtech.co.jp

企画から製本まで承ります。

企画・デザインから製本まで
トータルサポートでお値打ち!!

デザイン

名刺・ハガキ・封筒・チラシ・カタログ・
パンフレット・ポスター・定期刊行物
etc.
タイプ・電子組版時代から築き上げら
れたノウハウはDTPにおいて、特に
不得意とされる縦組みの書籍・表組み
の頁物も得意分野です。

印刷

カラー印刷・2色刷り・1色刷り・特色
刷り、品質・部数・ご予算に応じて提供
いたします。
Macintoshのみならず、ワード・大
部等の通常のオフセット印刷に過ぎな
いWindowsデータの出力ノウハウも
ありますのでご相談ください。

製本

自分史・体験記・詩歌・俳句・小説・エ
ッセイ・童話・絵本等、自分の本を作りた
いとお考えの方。
各種マニキュア・広報・配布文書・名刺
・クラブ・サークル誌・宣伝物等、製本で
お困りの学生・法人の方、少ロットより
お手伝いします。

総合印刷の



有限会社 **栄光社**

〒466-0035 名古屋市中区松風町三丁目4番地 2F
TEL. (052) 848-6148
FAX. (052) 848-6518
URL http://www2.ocn.ne.jp/~eik/
E-mail eikou@theis.ocn.ne.jp



広報委員会

委員長 森川 民雄 (W45)

学内

学外

吉田 亮

林 幹雄 (SC①)

北川 啓介 (SA⑧)

浅野 健 (SU⑥)

田川 正人 (M56)

廣瀬 光利 (E50)

酒向 慎司 (I⑪)

吉木 満 (W56)

山本 勝宏 (ZW⑥)

高取 奨 (D⑥)

安井 孝志 (D62)

野々山尚志 (Y63)

本多 沢雄 (ZY⑥)

大矢 泰正 (K52)

小坂井孝生 (K49)

守田 賢一 (F47)

米谷 昭彦 (F60)

入倉 則夫 (B47)

川村 大伸 (SS⑩)

宿輪 宏典 (名古屋工業大学 企画広報課)

一般社団法人名古屋工業会会誌 「ごきそ」に広告を掲載しませんか

「ごきそ」は隔月発行し、会員・廣告
主・関係官庁・各学会・大学・図書館等
に頒布されています。

詳細は名古屋工業会のホームページ

<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>

でご確認ください。

※広告を募集中です。お問い合わせは名古屋工業会 E-mail: gokiso@lime.ocn.ne.jp までお願いします。